



藤枝ロータリークラブ会報

通常例会／小杉苑

会長:平野 純也
副会長:土屋 富士子

幹事:増田 貴行
副幹事:澤部 小百合/太田 暢裕

● 会長 報告

平野 純也君

最近はまだ気温も上がってきて、夏を感じさせる日もあります。

さて、ロータリークラブの活動報告としまして



では、先週の土曜日に、「エンドポリオの募金活動」を行いました。参加いただいた多くの会員の皆様、ありがとうございました。当日は、江崎さんの計らいで、蓮華寺池の入口正面の一番いい場所にテントをお借りすることができ、「藤枝ロータリークラブ」という看板も用意していただいたの募金活動を行うことができました。当日は、藤まつりの初日ということもあり、大変多くの観光客が来園していました。毎年、エンドポリオの募金活動は藤枝駅でやっていたのですが、今回、初めて蓮華寺池での活動となりました。朝の忙しい時間に行っていた募金活動と違って、休日の 10 時からと、募金をしてくれる人はゆったりとした雰囲気、(あからさまに無視をされることも無かったので)、こちらでも安心して活動ができました。さらに、藤枝ロータリークラブの活動している姿を十分にアピールすることもできたと思っています。来年以降、(欲を言えば)テントの中で「ポリオやロータリークラブの動画」を流すことができれば、もっと PR に繋がるのではないかと思います。当日はとても天気がよく、日差しも強く暑かったので、準備も含め 2 時間も外にいましたので、疲れましたが、募金活動は、ロータリークラブの根幹の活動だと思っています。

話は変わりますが、今月 10 日に藤枝ライオンズクラブ、藤枝南 RC、藤枝 RC の会長・幹事の計 6 名の交流会が行われました。ライオンズクラブの活動内容や例会の話聞きました。例

会は月 2 回の 18 時 30～20 時まで、お酒無しの食事だけ。時間できっちり締め、二次会にいたい人だけ場所を変えてお酒を飲む。会費は 22 万と藤枝と同じですが、例会の回数は少ない。藤枝 LC の主な例会としては、「チャリティ寄席」、「清掃・献血活動」「田中城ウォーキング」「補助犬育成支援募金活動」などがあります。RC は 1905 年設立、LC は 1917 年設立で、RC の方が 12 年古いことになっていきますが、両方ともアメリカシカゴで設立されていることが面白いと思いました。LC のモットーは「We Serve (私たちは奉仕する)」です。あと、LC では、今年 2 月に、自民党本部と国会図書館の見学の例会があり、自民党総裁の席に座っている写真を自慢しておりました。また、機会がありましたら情報交換会ができればと思いました。

さて、本日の例会は、「地区研修・協議会報告」と、「クラブ臨時総会」となります。当クラブの細則の変更をお願いする大事な総会となります。会員の皆様のご協力を宜しくお願い致します。

● 理事会 報告

増田 貴行君

- ・ 5.6 月例会プログラムが承認されました。6 月 4 日は、同好会卓話へ変更となりました。
- ・ 6/18 最終夜間例会について、継続審議となりました。
- ・ 4/19 エンドポリオ活動について、9:30 現地集合、10:00～12:00 開催となります。インターアクトクラブは不参加となります。ポスター準備島村さんへ依頼。承認されました。
- ・ 5/7 委員会卓話 (戦略計画) について、承認されました。
- ・ 5/14 委員会卓話 (会員増強) について、テーブルメイトにて発表、もしくは資料作成の上とめを委員長が発表する流れとなります。承認されました。
- ・ 5/21 外部卓話 (順心高校) について、継続審議となりました。
- ・ 5/28 外部卓話 (静岡産業大学) について、堀川学長の都合が悪いため、代わりの教員の方が担当となります。継続審議となりました。

- ・6/4 テーブルメイト卓話について、同好会卓話へ変更となりました。
- ・6/11 会員卓話について、マイロータリー登録を進める内容の例会が承認されました。
- ・指名委員会報告について、継続審議となりました。
- ・25-26 地区補助金事業計画について、承認されました。
- ・クラブ臨時総会 細則改定について、第1号議案・第2号議案ともに承認されました。4/23 臨時総会開催となります。
- ・会員退会について、杉山静一会員の退会が承認されました。
- ・25-26 年度クラブ計画書について、委員会編成表、会員増強事業計画書、年間プログラムが承認されました。予算書は、継続審議となりました。
- ・第60回藤枝市少年少女サッカーリーグ戦開会式へ、次年度副会長・幹事・青少年担当・職業奉仕担当者が出席いたしました。
- ・米山世話クラブ補助費残金について、補助金の残高があることが報告されました。

● 幹事報告

増田 貴行君

- ・ガバナー事務局より
訃報のご案内がとどきました。

● クラブ臨時総会

藤枝ロータリークラブ細則 第3条 第1節、第7条 第2節に基づき、4月3日に全会員に告知した細則付帯規則及び改正案の審議の為に臨時総会を開催いたしました。全会員 40 名中 本日 29 名、委任状 9 名、合計 38 名、細則第1条 4 項の定足数を満たし、議案、藤枝ロータリークラブ細則改定・細則付帯規定について、出席会員数の 3 分の 2 の賛成で承認されました。

● 出席報告

松葉 隆夫君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
31/40 77.50%	40/40 100.00%

(1) 欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

内田君 ○落合君 河森君 ○北島君 ○鈴木君
○武田君 ○玉木君 ○戸田君 ○松田君
○望月君 ○八木君

※○印は欠席連絡あり

(2) メイクアップ者

北島毅君 (4/1 静岡北 R C)

鈴木邦昭君 (3/28 藤枝南 R C)

● ビジター

杉本 昭君 (焼津 R C)



深澤 英雄君 (焼津 R C)



● 地区研修・協議会報告

会長エレクト

土屋富士子君

ガバナーエレクトの稲葉 雅之さんが米国フロリダ州オーランドで開かれました国際協



議会への参加のお話され R I マリオ次年度会長のメッセージ「UNITE FOR GOOD」(良いことのために手をとりあおう)を話されました。全体会のあと 分科会に分かれルーム 1 の会長・幹事・学友 D E I の部屋に入り話を伺いました。ガバナーエレクトの稲葉雅之さんが話を進めていきました。クラブ目標サポートミーティングの定期開催を ZOOM で年 4~6 回の予定で行うとのことです。趣旨は 25~26 年度における各重要項目のクラブ目標達成をサポートする新たな施策として、定期的にオンラインミーティングを開催し、ガバナー及び地域リーダーがクラブの目標に対する進歩を把握、共有し適宜対応策の検討、助言等を行えるようにすること。なお、クラブサポートミーティングを効果的なものとするためにクラブ会長の皆様には定期的に決まったフォームに入力をし送るという 新

しい取り組みをいたします。

DEL 推進委員会「当たり前を気づき変える 1 年を共に創り上げていきましょう」というスローガンを掲げています。基本方針は本委員会、各クラブが主体となり DEL の推進に取り組めるよう、セミナーの開催や情報提供を通じた支援を行います。目指す成果は、①各クラブが DEL の概念を理解し、実践に移せる環境を整備する②クラブ間の情報交換の機会を増やし、成功事例を共有する。③DEL を推進する事で、ロータリー全体の多様性を高め、より多くの人が活躍できる場を創出する。以上の事が発表されました。

次年度幹事

太田暢裕君

次年度幹事の太田です。地区検収協議会のご報告をさせていただきます。おおよその内容は次



年度会長の土屋さんから報告がありましたので省かせていただきますが、2 点感じたことをご報告いたします。次年度 2025-2026 のテーマは UNITE FOR GOOD 良いことのために手を取り合おうですが、通常は国際ロータリー会長が独断で決めていたようですが今回から理事会で決議されたテーマとのことでした。それとシンボルマークのようなイメージがいつもありますが、今回よりなくなったそうです。国際ロータリーも変わりつつあるなという印象でした。あと次年度ガバナーの稲葉さんからは MyRotary の登録 100%を強く言われていました。このサイトにはたくさんの有益な情報があり、現代のロータリー活動においては使わない手はないとおっしゃっていました。まずは登録から始めましょうということのようでした。

次年度会員増強委員長

鈴木邦昭君

次年度、会員増強維持委員会委員長を務めます鈴木です。

ZOOM にて開催をされました地区研修・協議会のご報告をさせていただきます。

PELS 報告の時に太田幹事予定者より話しがありませんでしたが、RI マリオ次年度会長メッセージの一番目に会員増強の重要性を話されております。

ロータリーを活性化し、新たな声や考え方を取り入れ、地域社会への奉仕を強化するためには増強は不可欠な要素であります。

又、ロータリーの最大の財産は、プロジェクトでも、比類のない世界的な広がりでもなく会員そのものであると維持する大切さも述べられています。

「量か質か」という二者択一を排除し、奉仕と参画という価値観を共有できる職業人に働きかけることでロータリーの力を拡大していくことができます。

会員数が増えれば奉仕の力が広がり、地域社会にさらに多くのリソースを投入することが可能になります。

魅力ある組織づくりのためにクラブ全体で増強に力を注ぎ、目標である 3 名増を達成したいと思いますので引き続きご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

本会議の間に行われた分科会では、10 年間の会員数推移の報告があり、日本全体では 10 年前より 4,556 人減

マイナス 5.1%、2620 地区では 98 人減マイナス 3.3%で当地区は全体から見れば減少率は低いです。3,000 名という地区目標があり、現在 2,818 名ですので 182 名以上の新会員を目指しています。

山梨・静岡各グループより RLI 形式で指名された会員より発表があり、各クラブでの増強・維持の取り組みを聞かせていただきました。

親睦の取り組みとして、泊りでのゴルフコンペ等同好会活動を活発に行い、例会以外での楽しさを増やす。

3 カ月単位でテーブル指定席を変え、普段あまり話さない方とのきっかけづくりをする。

運動不足・健康維持としてヨガ講師をお招きし、汗をかきながら定期的に体力づくりをしたり、年末の年賀状作成へむけて書道の先生を呼んだり体験型の例会を増やすなど例会内容を再考する等の取り組みがありました。

また新クラブ、新しいタイプのクラブの設立など多様な会員を迎え入れる柔軟性が必要であります。

7 月 26 日土曜日「あざれあ」にて会員増強セミナーがありますので、手法を勉強し土屋会長・太田幹事のリーダーシップのもと目標に向けて職務を全うしたいと思います。

次年度ロータリープログラム委員長
八木晋介君

4月20日の地区研修・協議会にZOOMにて参加させていただきました。

毎年行われていて、数年連続で参加させてもらっていますが説明を聞くことが、ほとんどで卓話（話）をするといっても難しいので感じた事を書かせてもらいました。

一番重要なのは、最初の次期R I 会長の言葉だと感じていて、今回は革新、持続性、パートナーシップの三つの柱について話をしていました。現在、世界は非常に激しいスピードで経済状況、テクノロジーなど変化しています。そのような中ではクラブの形、中身もそれに合わせて変化をしていかなければならないということ。

継続性については、各地区のリーダー同志の連携によって協力の遺産を残していくこと。

パートナーシップについては会員同士のつながり、そして集合体としてロータリーの使命をまっとうしていく力をつける事により魅力のある団体であれば、目標であるか棋院増強にむすびついていくのではないかと思います。

分科会や各委員会の内容については、年間の行事の日程や行事内容の説明、挨拶などがメインで、いずれにしても自分たちで考え実行していくことが自分たちの成長、ロータリーの未来の成長につながるという事でした。

卓話（話）のために書かせてもらったのですが、聞くよりは地区研修・協議会のテキストを見るのが一番だと思います。

次年度R財団・米山記念奨学委員長
大塚高弘君

ロータリー財団部会

地区財団委員会の委員の紹介から始まり、地区財団補助金の説明と続きました。まず、財団年次寄付は150ドル/年・人です。

グローバル補助金は3万ドル以上の事業活動予算に対して、補助金を出します。

2620地区では事業費の内、1000ドル以上はクラブ負担とし、更にパートナークラブにも資金の負担をお願いしている。詳しい事は補助金小委員会に聞いて下さい。

次にポリオについて現在パキスタンで6名、アフガニスタンで1名の発症が確認されました。

①2025-26年度のポリオ基金寄付は30ドル/年・人、以上の寄付をお願いしたい。②ロータ

リーカードの申し込みとカード利用の推進、更にクラブカードの加入及び利用をお願いしたい。ロータリーカードを使って2万円の買い物をすると0.3%（60円）が自動的に寄付され1人分のポリオワクチンになります。③古着でワクチンプロジェクトの参加協力の依頼。（3年目の継続プロジェクトで今年度の静岡第4グループは39袋の予定が55袋集まりました）

地区ロータリー財団セミナーは2025年8月2日（土）に静岡グランシップで次年度（2026-27年）会長・ロータリー財団委員長を対象に開催されます

次年度クラブラーニングファシリテーター
青島克郎君

●R L I 運営の定着

新会員にも積極的に参加してもらう

●クラブでの活用

R L I を学び、クラブの活性化につなげる

●ロータリーの友紹介 村松 繁君

『ロータリーの友 4月号紹介』

みなさんこんにちは。ロータリーの友 紹介の村松です。よろしくお願いします。

4月は「環境月間」です。先月に続き、水や災害についてのテーマが多くなっています。

まず、7ページをご覧ください。

TKB48の大きな赤字の見出しに目がいきます。トイレ・キッチン・ベッドを避難場所に48時間以内に整備することを目指した取り組みです。とあります。

次のページからは日本とイタリアの避難所の違いについて詳しく書かれています。トイレ・キッチン・ベッドの順に写真付きで日本とイタリアの避難所を比較しています。K キッチンの項目のイタリアの写真説明を読むと「キッチンカーが来て、普段と同じ食事が給仕される。ワインや生野菜も提供される。ボランティア登録をしたプロのシェフが駆け付け、温かく、おいしい食事が食堂で振る舞われる。」とあります。日本のカップラーメンや冷たいおにぎりとは比べると段違いの差です。この差はどこから来るのでしょうか？

10ページにイタリアの防災術が詳しく解説されています。

過去の失敗から学び、防災システムを構築した

イタリアとあります。

その年表にヴェルミチーノの悲劇という文字があります。これを聞いて、自分の記憶にはないものだったので、調べてみました。

アルフレードくんは家族と郊外に出かけた際、誤って深さ約 80 メートルの井戸（パイプ状の穴）に落ちてしまいました。穴は非常に狭く、救出が非常に困難でした。

救助活動には地元消防、軍、専門家などが総動員され、テレビでも生中継され、イタリア全土が固唾を飲んで見守っていました。ローマ法王や大統領までが励ましのメッセージを送るほどの注目でした。

なぜ「悲劇」だったのか？

- 救助が失敗に終わったこと：3 日間にわたる救助作業にも関わらず、アルフレードくんは助け出されることなく亡くなってしまいました。
- テレビの生中継：救出の一部始終がリアルタイムで放送され、全国民が少年の死を見届ける形になりました。
- 救助体制の問題：救助方法に多くのミスや混乱があり、「もっと早く、的確に対応していれば助かったのでは」との批判が後に続きました。

このような経験から、イタリアでは災害対応を一本化する流れが出来上がり、市民保護庁の設立につながったそうです。また、ボランティアも無償ではなく、国がボランティアを財政面でバックアップしているとのこと。

11 ページから、ロータリーができること、ロータリーが活動してきたことが書かれています。藤枝 RC でも、どんな活動ができるのか、考えてみる材料を提供してくれています。

続いて 15 ページをご覧ください。2620 地区の小泉ガバナーの報告です。毎年 9 月の柿田川清掃活動には、歴代ガバナーが参加されるお約束だそうで、小泉ガバナーも参加されたとのことです。続きまして、たてぐみに移ります。

9 ページの「この人訪ねて」を今月をご紹介します。川上美智子さん 水戸好文（こうぶん）ロータリークラブのメンバーさんです。

「香りの博士」の地域貢献と絶妙なライフワークバランス とあり、香水か何かの仕事をされているのかと思って記事を読みました。

10 ページの 2 段目に川上さんの仕事の紹介があります。

「こんな川上さんの研究がある。台湾の最高級ウーロン茶「東方美人」と、インド産のダージリン茶のセカンド・フラッシュ（春摘みの一番茶に次ぐ夏摘みの二番茶）は、同じ甘いマスカットのような香りがする。川上さんは、この香の正体物質を自身が考案した検出方法によって、世界で初めて突き止めた。」とあり、その正体がウンカにやられた茶葉がウンカの天敵をおびき寄せる匂いだったんだそうです。川上さんは茨城県の和紅茶生産者に講演などで、ウンカ芽が出る二番茶を使うことを勧めています。と言っているそうです。静岡のお茶にも何かヒントになるかもしれませんね



ソングリーダー…… 石上 忠義君
ソング…… 我らが藤枝ロータリー

四つのテスト



《5月の事務局開局日時》

月	火	水	木	金
12	13	14	15	16
閉局	10:00～ 16:00	9:30～ 16:00	10:00～ 16:00	閉局
19	20	21	22	23
閉局	10:00～ 16:00	9:30～ 16:00	10:00～ 16:00	閉局
26	27	28	29	
閉局	10:00～ 16:00	9:30～ 16:00	10:00～ 16:00	閉局

※ 開局日時は変更になる場合があります。
最新の情報は、ホームページでご確認ください。

事務局

〒426-0037

藤枝市青木 1-11-10 アクセス 21

TEL054-647-2300 FAX054-647-2040

E-mail: club1972@fujieda-rotary.org

(担当／太田 暢裕君)